

科目名	☆まちの活性化としての「道の駅」その源を探る～RESASとビッグデータの活用～		
科目番号	A-11	開設大学名	鎮西学院大学
開講場所	諫早市・福岡県うきは市	教養・専門の別	専門
		単位数	2単位
開講期間	令和5年10月中旬 ～令和6年1月	曜日	土曜日（他の曜日も一部あり）
		時限	時限目
開講時間	時分～時分（分） 「毎週 曜日」（不定期）	授業定員	20人（うち単位互換定員 人）
		履修年次	1年生以上
実習費等	有り	選考方法	
その他特記事項	（県外研修・街角実践ワークあり） ※別に事前講座講義有り	試験・評価方法	出席・レポート等により総合評価

開講日	講義名	担当教員
	<p>《開講 10月～1月 10:00～16:00》 ※日程変更あり。</p> <p>①”RESAS”地域創生セミナー ○10月中旬 ＜地域経済分析システム（RESAS：リーサス）とNICECAMPUSの説明＞</p> <p>②先進地遊学セミナー ○10月下旬 福岡県うきは市（協力：（株）ランドブレイン） 県外先進地へ出向き、政策提言やRESASの活用方法・分析等を学ぶ 【九州じゃらん「みちの駅」九州No1の人気観光地うきはを視察】 県外遊学の地「うきは」と「白壁のまち吉井」の視察・分析を行う。</p> <p>③ポスターセッション（実践発表） ○1月下旬 ポスター調査発表 諫早市ボランティアフェスティバル 会場/ 諫早市民センター（予定）</p> <p>④その他 ○事前準備のために必要な個人・グループ実践ワーク</p>	<p>岩永秀徳 （鎮西学院大学 社会福祉学科 教授）</p>

連絡先 鎮西学院大学 教務学生課 0957-26-8274

（科目内容）

地域経済分析システム（RESAS：リーサス）は、平成27年4月から地方自治体の様々な取り組みを情報面から支援するために、まち・ひと・しごと創生本部事務局が提供する、産業構造や人口動態、人の流れなどの官民ビッグデータを集約し、可視化するシステムです。
このRESAS（リーサス）の活用方法や先進事例の現地視察や人事交流を行うなど、様々な角度から観光や街づくりについての実践的学びを新たな観光プログラムの開発を街頭調査・検証などを行います。その成果をポスターセッションで実践ワークを通して学び、産学官協働のまちづくりの策定手法などを学びます。

学生の感想・
教員のコメント等

この授業では、まち・ひと・しごと創生本部が、平成27年4月から地方自治体向けに発信し、様々な取り組みを情報面・データ面から支援するため、「地域経済分析システム（RESAS（リーサス）」のビッグデータの提供を開始し、多くの自治体が活用、新たな地域創生としての施策提言やソーシャル・アクションに繋がっています。ここでは「RESAS」を初歩から学び、先進地視察研修では、九州じゃらんで、常にトップレベルを維持している福岡県うきは市の「道の駅」を訪問。その集客の要因などを探るなど地方創生の実践型の実践例が視察でき、「産官+市民」が一体となった産業振興の学びの他、道の駅うきはの近隣町「白壁の街 吉井」の観光調査など、アクティビティからの学びが大きな魅力です。
後半では、諫早市ボランティア大会でのポスター・セッションでの報告など多角的な授業スタイルとなっています。気軽に仲間として行動でき、様々な関係者とも交流ができる楽しい授業です。

